

事業所における自己評価結果 令和7年度(児童発達支援・放課後等デイサービス)

児童デイサービス プレーメン

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境 ・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	○			児童発達支援・放課後等デイ、共に十分なスペースを確保している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			人員配置には不足を感じ無いような配慮を充分している
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	対象とした事業所ではない
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			PDCA サイクルを心がけ、午前と午後それぞれ、日案のミーティングを行うよう設定している
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			事業所評価アンケート調査を行い、結果を公表するとともに、職員間でも結果を共有し、業務改善に繋げている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			実施結果を保護者へ配布、HP 掲載
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			法律家による外部監査等を受け業務改善に繋げている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内、外部含め、年7回以上の研修計画を作成し実施している
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、支援計画を作成しているか	○			見学・体験時に保護者面談を行い、ニーズを把握、行動観察を記録し、個別支援計画を作成しています。外部でとった発達検査の結果などでも発達状況を把握し、支援計画に活かしている
	⑩	子どもの適応行動状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			日々の話合い、共通の目標を持って取り組むことを目指しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			週案等、複数の視点から検討し、課題や活動の目的を子どもの様子に合わせて設定しています
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決めこまやかに設定して支援しているか	○			一週間ずつのプログラムにより課題を消化する設定を行っている

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせせて計画を作成しているか	○		個別・集団活動の時間を状況に応じて、計画的に実施し子どもに見通しを立たせている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		週案・日案を立て、事前に打ち合わせを行っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	療育会議を定期的実施し、利用児童1名ずつ療育が適切であるかを検討している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		記録の整備について定期的に、研修を行っている他、月に一度、内容が適切であるかの検証を行っている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	○		4ヶ月又は6ヶ月を目安に行い、計画を新たに作成している
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援をおこなっているか		○	ガイドラインを基に5領域の目標を立て、支援を行っている
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達支援管理責任者・担当スタッフが会議等に参加している
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		直接行っていない学校に関しては、保護者様を通し連絡調整を行っている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもの主治医等と連絡調整を整えているか		○	対象児童なし
	㉓	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	対象児童全員ではないが、書面・電話での情報共有を行っている他、サポートファイルを通じて情報共有を行っている
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	対象児童なし
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		発達支援センターと連携を図り、定期的な訪問をして頂き助言を得ている

	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	○			地域の児童館への訪問、ファミリー会等ご参加のご兄弟との交流
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			年に数回参加
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			方向性について等、必要に応じ面談を行い、情報共有することで療育に繋げている
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			連絡ノートに療育活動での様子や、頑張っていること等をお伝えし、定期的に参観ウィークを設定する事で、ご家庭でも行える活動を支援している
保護者への説明責任等	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時には確実に説明を行い、保護者様からの質問等、その都度適切に行っている
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談がある場合には、電話か面談による支援を行い、定期的な面談を設け相談支援を行っている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			プレーメンファミリー会(年4回～)ママ会・親子遠足、夏まつりなど
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			決められた体制(苦情対応マニュアル)で適切な対応を行う
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月プレーメン通信を配布、HPページにて活動の様子を適宜掲載
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○			会社として取り扱いの研修を行い、注意している
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			電話、対面でのやり取りを心がけ、行き違いのないよう行っている
		③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	保護者様への周知を、徹底していきます
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練をおこなっているか	○			避難訓練を、年3～4回実施している

非常時の対応	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修に参加し、社内研修を実施
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	対象児童なし
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			食事の定期的な提供はありませんが、定期的アレルギー調査を行いアレルギーがある児童に関しては、小麦粉粘土などの使用を中止する等を行っている
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			危険な事例があった場合、特定の報告書に記載し、話し合いを通して職員で共有している